1. 基本情報

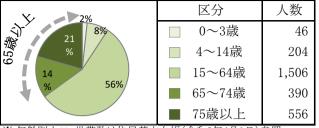
◇人口	2,702人			
■0~14歳	250人 / 9%	(12.2%)		
■15~64歳	1,506人 / 56%	(57.8%)		
■65歳以上	946人 / 35%	(30.0%)		
■昼夜間人口比	375%	(102%)		
■1人世帯率	44%	(27%)		

※()内は市平均

◇世帯数 1,409 世帯

■1世帯あたり人口 1.92人/世帯 (2.29人/世帯)

【年齢別人口】



※ 年齢別人口・世帯数は住民基本台帳(令和3年4月1日)参照。 ※ 昼夜間人口・1人世帯率は国勢調査(平成27年)と経済センサス・基 礎調査(平成26年)参照。

※()内は市平均 【建築年代別木造非木造建物】

◇面積		0.90km [*]
■人口密度	3,002人/km²	(445.7人/k㎡)

※()内は市平均

◇総建物数	1,530棟
■旧耐震基準建物	1.001棟

■新耐震年代の割合 35% (47%) ※()内は市平均

建築年 棟数 S35年以前 468 S36年~S55年 228 212 S56年以後 S45年以前 114 191 S46年~S55年 S56年以後 317

◇位置



【町丁目·大字】

南長野諏訪町、南長野西後町、南長野県町、南長野妻科、南長 野南県町、南長野新田町、(新諏訪一丁目)

※()は他管内にもある区域

2. 地域の取り組み

3. 防災関連施設

◇災害対策本部(支部)

設置 長野市役所 場所

◇要	配慮者利用施設
保園 (認子も含む)	後町保育園,つましな保育園
幼稚 園	
	もんぜんぷら座こども広場「じゃん・けん・ぽん」, ファミリー・サポート・センター

◇防災備蓄倉庫 後町ホール	-	飲料水(0)	トイレ(基)	毛布類(枚)	その他
	4,940	408	7	80	0
もんぜんぷら座	0	360	0	300	0
◇水防食庙等					

◇水防倉庫等

水防倉庫	0箇所	消防

団詰所 0箇所

消防団器具置場 0箇所

地域活動支援センター・	ポプラ,CafeCoCo

障害 者 福祉

児童 福祉

施設

施設

シニアアクティブルーム,プリマベーラ,野澤苑,茶話本舗デイサービス妻科,サンフィットあがた,老人デイサービスセンター

福祉 施設

他の 施設

◇公民館

中部公民館分室(後町ホール) 館

4. 避難所・避難場所

	避難所(屋	避難場所			<u></u> 性		広域	
施設名	内)収容人 数(人)	収容人数 (人)	洪水等	土砂災害	地震	大規模な火事	避難 場所	
長野県長野商業高等学校	数(八)	13,940	0	0	0	×	物別	
県庁本館北側広場(憩いの広場)	0	794	×	0	0	×		
後町ホール(中部公民館分室)	114	114	×	0	0	×		
長野県立大学後町キャンパス運動場	0	1,000	X	0	0	×		
長野市立加茂小学校	435	3,330	グラウンド除く	0	0	×		
信州大学教育学部グラウンド	0	7,100	クラリント除く	北西の一部除く	0	×		
ひまわり公園	0	2,617	0	北西の一部隊へ	0	×		
長野市立西部中学校	832	3,904	0	0	0	×		
長野市立城山小学校	688	4,533	体育館除く	0	0	×		
城山公園	0	24,300		南東の一部除く	0	0	0	
長野県長野西高等学校	0	8,193	0	第2体育館	0	×		
多目的(防災)広場	0	869	0	第2体育館	0	×		
長野市芸術館	0	1,912	0	0	0	×		
長野市立鍋屋田小学校	591	3,276	2階以上	0	0	×		
長野市立山王小学校	572	4,365	2階以上 ×	0	0	×		
長野駅東口公園	0	5,895	X	0	0	×		
清泉女学院大学・清泉女学院短期大学 長野駅東口キャンパス 1階 テラス・2階ロビー	0	87	2階以上	0	0	×		
セントラルスクゥエア	0	2,160	X	0	0	×		

佐司ルタ	避難所(屋 避難場所 内)収容人 収容人数 数(人) (人)	適性				広域 避難 場所	
		(人)	洪水等	土砂災害	地震	大規模な火事	場所

※1 避難所の収容人数は一人当たり3㎡、避難場所の収容人数は一人当たり2㎡で算出

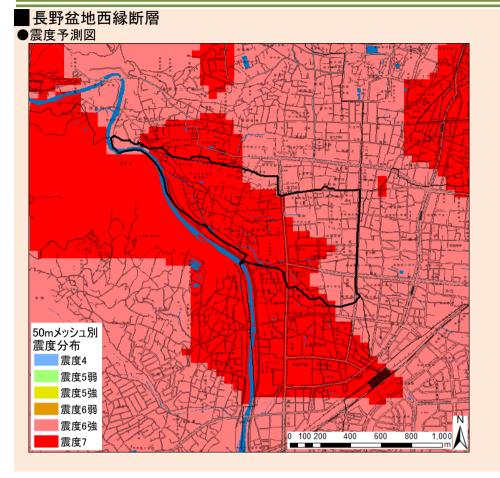
5. 孤立集落(地震)

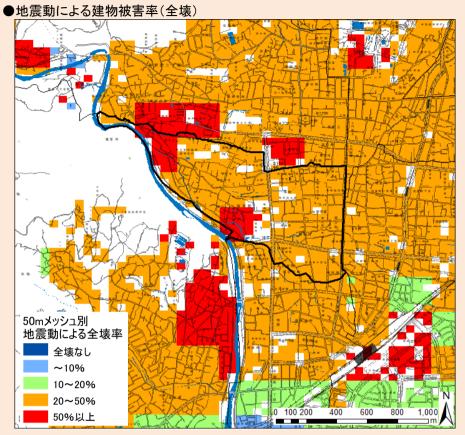
	想定地震		
集落名	長野盆地 西縁断層	糸魚川- 静岡断層 (全体)	

	想定地震		
集落名	長野盆地 西縁断層	糸魚川- 静岡断層 (全体)	

	想定地震		
集落名	長野盆地 西縁断層	糸魚川- 静岡断層 (全体)	
※ ●は地震により孤立する可能性あり			







▼地震動 震度6強~震度7 震 度 ▼建物被害 468棟 30.6% 全壞 128棟 8.3% ▼火災被害数(冬の18時の場合) 全出火件数 0.1% 炎上出火件数 1件 0.1% 残出火件数 1件 0.1% 焼失棟数 278棟 18.2% ▼人的被害(冬の18時の場合) 26人 1.0% 負傷者 98人 3, 6% 重傷者 76人 2.8% 自力脱出困難者 261人 9.7% 避難者(1日後) 1, 346 J 49.8% 避難者(2日後) 1,620人 60.0% 避難者(1週間後) 1,542 J 57.1% 避難者(1ヶ月後) 1.519人 56.2% ▼ライフライン被害

▼被害の様子

上水道管被害

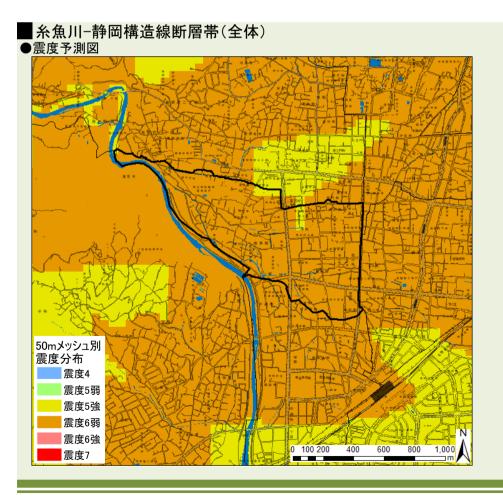
都市ガス停止戸数(直後)

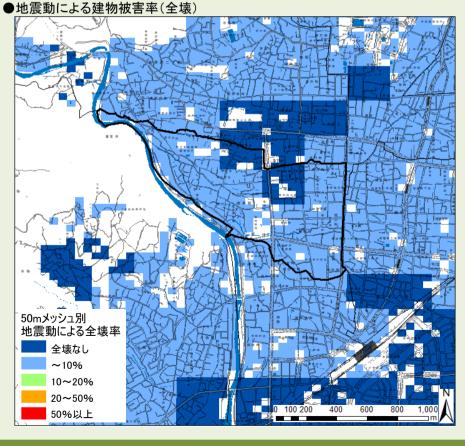
●地震被害予測結果

最大震度7の強い揺れ、古い木造建物が多いことから、全壊建物約470棟(全壊率約31%)、26名の死者が予測される(人口の約1%)。 冬18時の想定では、延焼火災による被害が予測される。

11箇所

294戸





●地震被害予測結果 ▼地震動 震度5強~震度6弱 ▼建物被害 0.3% 49棟 3.2% ▼火災被害数(冬の18時の場合) 0.0% 0件 炎上出火件数 0件 0.0% 残出火件数 0件 0.0% 焼失棟数 0棟 0.0% ▼人的被害(冬の18時の場合) 人0 0.0% 負傷者 7人 0.3% 0.0% 重傷者 1人 自力脱出困難者 3人 0.1% 避難者(1日後) 21人 0.8% 避難者(2日後) 260人 9.6% 避難者(1週間後) 157人 5.8% 避難者(1ヶ月後) 101人 3.7% ▼ライフライン被害 上水道管被害 3箇所 都市ガス停止戸数(直後) 0戸 ▼被害の様子

最大震度6弱の揺れ、また古い木造建物が多いことから、全壊建物が5棟(全壊率約0.3%)、死者は想定されていない。

地区名 第四 ●水害·土砂災害危険箇所 ▼土砂災害警戒区域 土石流 0箇所 急傾斜地 0箇所 地すべり 0箇所 ▼土砂災害特別警戒区域 **※** 土石流 0箇所 急傾斜地 0箇所 地すべり ▼土砂危険箇所(県建設部所管) 土石流 0箇所 城山小学校介 急傾斜地 0箇所 地すべり 0箇所 ▼浸水想定区域 想定最大規模 最大10.0m 令和4年1月時点公表済みの河川による 想定最大規模浸水想定区域 新 諏 訪 切 西部中学校 沧 加茂小学校 浸水深 0.5m未満 西之門町 ▼孤立可能性のある集落 %一学 0.5~3m未満 3~5m未満 5~10m未満 10~20m未満 20m以上 家屋倒壊等氾濫想定区域 想定最大規模浸水想定区域以外の 平成27年以前に公表されていた河川の 計画規模の浸水想定区域 後町 浸水深 0.5m未満 0.5~1m未満 西鶴賀町院 1~2m未満 鍋屋田小学校 2~5m未満 5m以上 土砂災害特別警戒区域 ▼災害履歴 タイプ 避難所 災害の種類により使用不可となる 南石堂面 場合がある(様式1-2参照) ▼防災課題 防災備蓄倉庫 土砂災害の警戒区域・危険箇所 県建設部所管のその他の 水防倉庫 は無く、土砂災害被害はほとんど無 ---- 新幹線 いものと考えられる。 急傾斜地崩壊 ++++ 鉄道(新幹線以外) 岡田町 地区の南半分で裾花川のはん濫 土石流危険区域 - 緊急輸送道路 により最大10.0m程度の浸水が想定 されており、浸水想定区域内に避難 水面 土石流危険渓流 所があることから、安全な避難が課 地すべり危険箇所 題である。 1,000 100 200 600

※ 最大規模浸水想定区域はおよそ1000年に1回の確率の最大規模降雨による浸水状況をシミュレーションで求めたもので、令和4年1月末公表済みの結果について全て重ね合わせたものです。その他の計画規模浸水想定区域は 最大規模浸水想定区域にかからない中小河川においておよそ100年に1回の確率の降雨による浸水の状況をシミュレーションで求めたものです。想定される浸水が実際と異なる場合があります。

氾濫流 河岸侵食

急傾斜地

急傾斜地

土石流

地すべり

危険箇所

土石流

土砂災害警戒区域

土砂災害危険箇所

